

## 龍角散 スペシャル

# ロン・ティボー・クレスパン 国際音楽コンクール ガラ・コンサート

フランス・パリで行われる数々の国際的演奏家を輩出する若き演奏家たちの登竜門

**2019年度=コンクール史上初、日本人1位・2位独占の快挙！！**

**11年ぶりに日本でのガラ・コンサートを2020年4月7日（火）東京文化会館にて開催！**

株式会社フジテレビジョン（本社：東京都港区）では、2020年4月7日（火）に東京文化会館大ホールにて、龍角散に特別協賛を頂き、11年ぶりに日本でのガラ・コンサートとなる「龍角散 スペシャル ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクール ガラ・コンサート」を開催いたします。

「ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクール」は、フランスの名演奏家、マルグリット・ロン（ピアノ）とジャック・ティボー（ヴァイオリン）によって1943年にフランス・パリで生まれました。70年を超える歴史の中で、ショパン、チャイコフスキー、エリザベート王妃国際コンクールとならぶ若き音楽家の登竜門として、これまでに数々の国際的演奏家を輩出してきました。

これまでに日本人では、＜ピアノ部門＞では、清水和音、野原みどり、田村響など、＜ヴァイオリン部門＞では、樫本大進、山田晃子、多くの優勝者が世界の桜舞台へと巣立っていきました。また本コンクール入賞を機に、横山幸雄、梯剛之、南紫音など多くがその後に、日本を代表する演奏家へと育っています。

**2019年は、＜ピアノ部門＞が開催。最終選考結果が同年11月16日に発表となり、日本人の三浦謙司が優勝、務川慧悟が2位に入賞。日本人1位・2位独占の快挙を成し遂げました。**＜ピアノ部門＞での日本人の優勝は12年ぶりとなり、本コンクールで日本人が1位、2位を独占するのは史上初の快挙となりました。これを記念して、11年ぶりに日本でのガラ・コンサートを開催。**コンクール1位・2位を獲得した二人が、パリ本選決勝で魅せたピアノ協奏曲の熱演を、東京で再び披露します。さらに、二人の上位入賞者によるガラ・コンサートのためだけの一夜限りの特別な演奏曲もお届けします。**



コンクール本選で演奏する三浦謙司



三浦謙司（左）、務川慧悟 コンクール表彰式の様子

この機会に、フランス・パリでのコンクールで認められた、若き演奏家たちの華麗なる響きをお楽しみください。

## 公演概要

催事名称： 龍角散 スペシャル ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクール ガラ・コンサート  
公演日時： 2020年4月7日（火）19:00 開演  
会場： 東京文化会館 大ホール （東京都台東区上野公園 5-45）  
出演： 三浦謙司（2019年度コンクールピアノ部門優勝）  
務川慧悟（2019年度コンクールピアノ部門2位）  
指揮：下野竜也 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

公演内容： 本年度コンクールピアノ部門優勝者・2位受賞者を迎え、コンクールにて入賞したピアノ協奏曲を披露するガラ・コンサート。

演奏曲目： サン＝サーンス：ピアノ協奏曲第5番 へ長調 Op.103「エジプト風」（ピアノ：務川慧悟）  
ショパン：ピアノ協奏曲第2番 へ短調 Op.21（ピアノ：三浦謙司）  
モーツァルト：2台のピアノのための協奏曲 変ホ長調 K.365（ピアノ：三浦謙司、務川慧悟）

入場料（全席指定・税込）： S席 5,000円/A席 4,000円/B席 3,000円/  
S席ユース 4,500円/A席ユース 3,500円/B席ユース 2,500円  
●S・A・B席ユースについて  
※小学校1年生から満25歳までの方が対象となります。  
※各席種、通常価格とユース価格の席を並びご購入になることも可能です。小学生のお子様の場合は、なるべく保護者の方のご同伴をお願い致します。  
※一度ご購入になったチケット代金との差額の返金や払い戻しは承れません。  
※公演当日は、年齢の確認できる身分証明書（学生証・社員証・運転免許証・健康保険証など）を、必ずお持ちください。年齢の確認ができない場合は、ご入場をお断りする場合がございます。

チケット発売について： 2020年1月25日（土）10:00～ 一般発売開始

チケット発売窓口：  
フジテレビダイレクト <http://fujitvdirect.jp/>  
チケットぴあ（Pコード：173-683）  
<https://w.pia.jp/t/long-thibaud-2020/>  
0570-02-9999（24時間/火・水 2:30～5:30を除く）  
※音声自動応答  
セブン-イレブン店頭/ぴあ店舗  
ローソンチケット（Lコード：34674）  
<https://l-tike.com/long-thibaud-2020/>  
0570-000-407（オペレーター10:00～18:00 Lコード不要）  
ローソン店頭/ミニストップ店頭（店内 Loppi）  
イープラス  
<https://eplus.jp/long-thibaud-2020/>  
東京文化会館チケットサービス  
<http://www.t-bunka.jp/>  
03-5685-0650（オペレーター対応/10:00～18:00）  
窓口 10:00～19:00（休館日を除く）

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。  
※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれない場合がございます。  
※一度お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合を除き、キャンセルをお受けすることができません。  
また、病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合も、払い戻しは承りません。  
※東京文化会館大ホールには、エレベーター、エスカレーターはございません。  
※車イスをご使用のお客様のご予約は、クラシック事務局<0570-012-666/平日 12:00～17:00>のみにてお申し受けいたします。  
（S席料金となります。）予めご了承ください。

日本公演公式サイト：<http://www.long-thibaud-2020.jp>

公演に関するお問い合わせ：クラシック事務局 TEL:0570-012-666（平日 12:00～17:00）

主催：フジテレビジョン

特別協賛：龍角散

後援：フランス大使館 BS フジ ニッポン放送

## ■ ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクールとは・・・

フランスの名演奏家、マルグリット・ロン（ピアノ）とジャック・ティボー（ヴァイオリン）によって、1943年にパリで生まれました。70年を超える歴史の中で、ショパン、チャイコフスキー、エリザベト王妃国際コンクールと並ぶ、若き音楽家の登竜門として数々の国際的名演奏家を輩出してきました。2011年より「声楽部門」が加わり、レジヌ・クレスパン（ソプラノ）の名前も含めて「ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクール」となりました。

日本人では過去に清水和音、野原みどり、樫本大進、山田晃子、田村響など、多くの優勝者が世界の桧舞台へと巣立っていきました。また本コンクール入賞を期に、横山幸雄、梯剛之、南紫音など多くがその後、日本を代表する演奏者に育っています。

これまでに「ピアノ部門」「ヴァイオリン部門」「声楽部門」のコンクールが、パリで開催。1990年から2009年まで、フジテレビの主催で、その年度の優勝者もしくは上位入賞者を日本に招いて「ガラ・コンサート」として特別演奏会を開催いたしました。

### ●2019年度 ピアノ部門 入賞者

優勝 三浦謙司（日本）

2位 務川慧悟（日本）

3位 Zhora SARGSYAN（アルメニア）

4位 Jean-Baptiste DOULCET（フランス）

5位 Alexandra STYCHKINA（ロシア）

6位 Clement LEFEBVRE（フランス）

### ●主な歴代入賞者

スタニスラフ・ブーニン（1983年 ピアノ部門優勝／旧ソヴィエト）

横山幸雄（1989年 ピアノ部門3位／日本）

小林美恵（1990年 ヴァイオリン部門優勝／日本）

野原みどり（1992年 ピアノ部門優勝／日本）

樫本大進（1996年 ヴァイオリン部門優勝／日本）

梯剛之（1998年 ピアノ部門2位／日本）

イージャ・ハウ（1999年 ヴァイオリン部門優勝／中国・カナダ）

山田晃子（2002年 ヴァイオリン部門優勝／日本）

南紫音（2005年 ヴァイオリン部門2位／日本）

田村響（2007年 ピアノ部門優勝／日本）

シン・ヒョンス（2008年 ヴァイオリン部門優勝／韓国）

成田達輝（2010年 ヴァイオリン部門2位／日本）

實川風（2015年 ピアノ部門3位／日本）

### ●出演者プロフィール

#### 三浦謙司（2019年度コンクールピアノ部門優勝）

Martha Argerich が審査員長を勤めた偉大なるロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで優勝及び3つの特別賞を獲得し、新しいタイプのアーティストとして現れる。これまで第4回マンハッタン国際音楽コンクールで金賞受賞、第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールで優勝、2017年スタインウェイコンクールベルリンにて第1位獲得。第9回浜松国際ピアノコンクールで奨励賞受賞。

2020年ワーナークラシックよりアルバムがリリースされる予定。

世界中の数々の会場に招かれる。ロンドンのウィグモアホール、ベルリンのコンツェルトハウス、パリのラジオフランス大ホール、モスクワ国際音楽の家、浜松アクトシティ、東京文化会館など数々の舞台で演奏会を開く。

これまでにフランス国立管弦楽団、浜松フィルハーモニーと共演。2020年には Vladimir Spivakov 率いるロシア・ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団と共演を控える。

Klavierfestival Ruhr, Festival Chopin de Lyon, Festival International de Musique Dinard, Vilnius Piano Festival, Argerich's Meeting Point in 別府など世界各地のフェスティバルに呼ばれる。

1993年、神戸で生まれ、4歳から自分の意思でピアノを始める。13歳で英国政府主宰の音楽とダンス専門教育のための奨学金を獲得し、単独渡英しロンドンのパーセル・スクールに入学。ロシアン・マガブ及びウィリアム・フォンのもとでピアノを学ぶ。

2011年ロンドンの王立音楽アカデミー、ベルリン芸術大学、そして名声のあるアメリカのカーティス音楽院の



受験にすべて合格し、ベルリン芸術大学にて Klaus Hellwig に師事し研鑽を積む。2012年の夏、ベルリン芸術大学を中退、音楽の世界から一度離れる決心をする。2014年4月、同じくベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入り直し、Eldar Nebolsin に師事。

## 務川慧悟 (2019年度コンクールピアノ部門2位)

東京藝術大学1年在学中の2012年、第81回日本音楽コンクール第1位受賞を機に本格的な演奏活動始める。

2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。パリ国立高等音楽院、第2課程ピアノ科、室内楽科を修了し、第3課程ピアノ科 (Diplôme d'Artiste Interprète)、同音楽院フォルテピアノ科に在籍。

2019年ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて第2位入賞

2015年エピナル国際ピアノコンクール (フランス) 第2位。2016年イル・ドゥ・フランス国際ピアノコンクール (フランス) 第2位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール (イタリア) ピアノ部門第1位、各部門優勝者によるファイナルにて第2位、聴衆賞を受賞。2018年秋に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールにおいて第5位を受賞。

2017年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに6回のリサイタルを開催。これまでに、日本各地、フランス、スイス、上海、ラトビア、イタリアにて演奏会を開催のほか、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、練馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団、NHK名古屋青少年交響楽団、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ、フランスにてロレーヌ国立管弦楽団と共演。室内楽においては、チェロの木越洋氏、長谷川陽子氏、ヴァイオリンの篠崎史紀氏、大谷康子氏、石田泰尚氏、等と共演。テレビ、ラジオでは、NHK-FM“リサイタル・ノヴァ”“ベストオブクラシック”NHK-Eテレ“さらさらサラダ”“ららら クラシック”等に出演。

日本、ヨーロッパを拠点に幅広く演奏活動を行うと共に、「ピアノの本」において留学記、ヤマハHPにてコラムを連載するなど、多方面で活動している。

2012、13、14年度ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2015、16年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2017年度公益財団法人江副記念財団奨学生。

フランク・ブラレイ、上田晴子、ジャン・シュレム、パトリック・コーエン、横山幸雄、青柳晋の各氏に師事。



## 下野竜也 (指揮)

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、シリコンバレエ響など国際舞台での活躍が目覚ましい。

読売日本交響楽団正指揮者、首席客演指揮者を経て、現在は、広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者 (2020年3月まで)。

太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。

京都市立芸術大学、東京音楽大学、東京藝術大学にて後進の指導にあたる。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



©Naoya Yamaguchi

## 新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年よりすみだトリフォニーホール（墨田区）を本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。世界的指揮者との共演歴を誇る定期演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年小澤征爾が桂冠名誉指揮者就任。また久石譲と立ち上げた、新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラでは幅広い人気を集めた。2016年より指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。



©K.Miura

公式ウェブサイト：[www.njp.or.jp](http://www.njp.or.jp) 公式ツイッター：[@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil)

公式 Facebook：[/newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil) 公式 Instagram：[/newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil)